

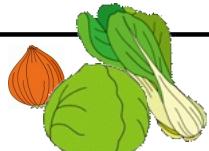


WAVE 52号 ウエーブ

2013年3月

- 2 ひろがろう 協同組合の仲間と
- 3 つながろう全国のワーカーズの仲間と
- 4 INFORMATION

新たな門出「ワーコレこしがや」の再出発



「ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷」へ

受託事業の契約が解除され、新たな道を模索した
「ワーコレこしがや」が新しい方向に踏み出しました

ワーカーズの精神を大事に

「ワーコレこしがや」は、越谷市農産物運営協議会の解散により農産物販売受託事業が契約解除になり、「目的とする事業の遂行不能」の会則に従って平成25年1月末日をもって解散いたしました。

しかし、ワーカーズ・コレクティブの精神である「自主管理」「自主運営」「地域での協働事業」「越谷の農業の活性化」「高齢者に働く機会と場所作り」「消費者に安全・安心・新鮮な野菜の提供」に賛同する7名のメンバーが、今までの経験を生かす場所作りとして「ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷」を平成25年2月1日付で設立いたしました。

本来であれば、「ワーコレこしがや」の名称が消費者に浸透し、馴染んでおりましたが、新たな意気込みの門出として「ワーコレとれとれ越谷」の名称で発足いたしました。



越谷市蒲生交流館の店舗
「とれとれ越谷」

地域と連携し、自主的な事業を続ける

事業内容は、越谷産農産物の販売、越谷市内のイベント会場にて野菜・加工品等の販売、野菜の宅配販売等を行います。

この事業の推進のため、メンバーから出資金、運転資金を集め、事務所の設立、定期的に販売する場所を確保すべき計画を立案いたしておりました。

そんな中、新生「ワーコレとれとれ越谷」の誕生に、行政が全面的に協力、今までと同様に越谷市蒲生交流館の施設を利用できるようになりました。これは越谷市より「越谷の農業振興を推進する」ために資金を出し合って取り組む活動目的及びその内容と約7年に渡る今までの「ワーコレこしがや」の活動内容を評価して頂いたのです。

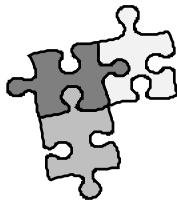
これからは、自主運営により発生する諸問題が多数出て来ることと思いますが、メンバー一同負げずに乗り越えていきます。今後とも、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会及び関係者各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ワーカーズ・コレクティブとれとれ越谷
久木田 豊



ひろがろう、協同組合の仲間と

2012年11月17日、18日 大宮ソニックシティほか



労働者協同組合(ワーカーズコープ)(以下労協)はワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン(以下WNJ)と協同労働の事業体の法制化運動をともにしてきました。労協が毎年開催する全国集会が2012年は埼玉で行われ、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会がWNJとともに実行委員として関わりました。20分科会のうち、第5分科会と第7分科会に参画し、ワーカーズ・コレクティブとして、事業のあり方や、地域ケアへの提言をしました。参加者からの報告です。



第5分科会

「人間らしい生き方働き方を
地域から創る協同労働の可能性」

◆仲間や地域とのつながりで可能性を広げたい

テーマは「持続可能な事業経営」。

今の日本は不況で、事業性の薄いことを行っている我々が持続していくには課題が多い。しかし、利潤追求を第一とせず、地域を豊かにすること、地域に役立つ仕事をすることである。地域の人々に必要とされ、安定した事業高が得られれば持続するはずである。地域住民の困っていること、不自由に感じていることを知り、その解決方法を考え、自分たちができることから実行する。

5つの事例発表から、地域のニーズは多様・複雑・変容していると感じた。長野の事例では店を出し、買い物難民の援助に努め、出だしは順調だったが、客足が減ってきていている。商品内容や店内の改装(休憩コーナー作り)をし、打開策を試行錯誤している。単にサービスや物を提供するだけではいけないと話されていた。利用者の声を聞き、柔軟に速攻的に対応することが大切で、そのためには情報の収集と発信が欠かせない。そして、その仕事で生活できる収入にすることを目指していく。

一人では難しくとも仲間や他のグループと一緒に行動

実行委員になって

今回初めて労協のイベントに実行委員として参画しました。互いに違いを確認することができたと思います。

労協の事業継続への姿勢などは参考にでき、ワーカーズ・コレクティブが地域貢献に主体的に取組む姿勢は評価されました。今後協同組合間協同を進める中で、協力し合えることがあると思います。

埼玉ワーカーズ連合会会長 後藤 成美



ことで可能性が広がっていく。

普段は業務をこなすことで、精一杯であるが、他団体の元気な方や頑張って活動されているお話を聞き、私にはわが身を振り返る良いきっかけとなった。

NPO 法人ワーカーズコレクティブ 代表
大野 恵子



第5分科会 ワークショップ

第7分科会

「支えあいの地域を創るコミュニティケアー
~制度を超えて~」

◆つながりを作る大切さを学ぶ

基調講演は新潟県の河田珪子さん(常設型地域の茶の間「うちの実家」代表)。河田さんは癌を抱えながら義父母の介護のために見知らぬ土地に来て、介護される側にもする側にも優しい「まごころヘルプ」を立ち上げました。そこは地域の人だれもが参加できる相互扶助、異世代交流の場である常設型居場所「うちの実家」となり、新潟全域への刺激剤になり、地域に合ったそれぞれの居場所2000か所以上の創設につながったと話されました。

富山県の「ほびー」は仕事起こしからディサービスを始めました。H18年介護保険制度改革によりディサービスが利用できなくなった利用者のために「茶の間ほびー」

を開所、H22年には看取りを視野に入れ診療所を併設した「ほびー村」を開所し、地域の中に溶け込んで広がっています。埼玉県の「ぽけっとステイション」は自立に向けた支えあいを目標に市からの委託事業を含めた様々な自立支援事業を行っています。ワーカーズ・コレクティブ「たすけあい輪っはっは」は、生活クラブの委託事業のディサービスの昼食づくりとともに、地域に在宅し続けられるサービスを常に考え、たすけあいワーカーズ

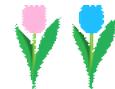
ならではの心づかいでサービスを行っています。

この分科会を通して地域での人ととのつながりを作ることの大切さを改めて感じ、障がいのある人、年長者、子供たちが安心して住める地域作り、「ないものは作る」という河田さんの言葉に感じ入った一日でした。

企業組合ワーカーズ・コレクティブ旬 渡辺 千枝



WNJ2012 国際協同組合年



ワーカーズ・コレクティブまつり

「協同組合地域貢献コンテスト」最優秀賞受賞記念

2012年12月23日、大田区産業プラザ pio 180名参加

つながろう全国のワーカーズ・コレクティブの仲間と



活動報告・グリーンコープ(九州)

WNJ が主催してワーカーズまつりが開催されました。午前中に福祉連絡会フォーラム、午後は全国の仲間の事例報告、会場にはワーカーズの品物や被災地カンパグッズが並べられ 2012 国際協同組合年の締めくくりになりました。



ブースでワーカーズのアピール

「介護保険・改定して、いい仕組みになったの？」
誰もが自分らしく暮らし続ける為の“ささえ”になってくれるのか？
福祉連絡会フォーラム参加報告

住み慣れた地域で暮らし続けるためのささえになりたい

2012年4月に介護保険が改定されての現状報告を聞いて納得したことがありました。介護保険の改定では、家事援助が薄くなるので私たちのたすけあいの依頼が増えると思っていましたが、ほとんど増えていません。利用者さんは介護サービスの時間が少なくなってしまって納得するしかないのでしょうか。それでも話し相手が欲しいのでしょうか、サービスに行っても家事援助の時間よりお話をうかがう時間が長くなったりするのが現状です。また介護をしているご家族のサポートをする依頼も多いのです。デイホームやショートステイを利用するなど、介護するご家族の時間は保てるようになってきていますが、まだまだ疲れています。ここが折れたり、気持ちが疲れたりしています。そんな方達の手伝いができたらと思い、家事援助に伺っています。

講演では服部万里子さん(立教大学教授、株式会社メディカル研究所所長)が、介護保険改定の国の政策について話されました。介護保険利用者が増える中(2025年に団塊の世代が75歳になり爆発的に増えると予測)、介護保険給付を少なくしていく方針であること、そのためサービス付き高齢者向け住宅などを増やし、一括で効率的に介護させる方向であることを説明されました。訪問介護事業所には厳しい未来です。

住み慣れた地域でずっと暮らし続けたいという思いで、利用者さんとご家族を支えてきました。これからの地域福祉を見守らなければならないと思います。

企業組合たすけあいワーカーズ輪っはっは
日原 久美子

仕事を大切に続けて

「いと」20周年



ミシン3台とロックミシン1台を持ち寄り、7人のメンバーでスタートしたのが1992年、「いと」は今年20周年をむかえました。手づくりの『20周年記念誌』をまとめ、2月3日に生活クラブ草加センターの会議室を借りてささやかなお祝いの会を開きました。

地域の方々とワーカーズの仲間が集まって下さり、私たちメンバーを含め21人、準備ワーカーズの頃から知っていた方を始め皆さんからの一言が温かく、メンバー全員、今後のエネルギーをいただきました。『青いそら』に配達してもらったお食事もおいしくて大好評！でした。

スタート当時の「お母さんの会」から「おばあちゃんの会」になりましたが、地域の方とワ



20年前と変わらぬ思いと、重ねた経験を大切に、これからもがんばります。

ワーカーズの仲間に支えられながら、着物のリフォームや、地域の方たちの裁縫教室などを大切に続けてゆきたいと思っています。

いと：大塚晴子

出前講座

ワーカーズってなに？出前講座 講師派遣します

2時間1万円+交通費（関係団体は5千円）



冊子

「ホップステップワーカーズ

起業のためのガイドブック

改訂新版！埼玉W.Co連合会発行500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える

ワーカーズ・コレクティブの福祉事業事例紹介」

WNJ発行500円

WNJ：ワーカーズコレクティブネットワークジャパン（全国組織です）

あとがき

今年の冬の寒さは特別だった。14年余り一緒に暮らして来た猫の癌手術…お別れ。母の骨折、手術と重なり、変化に早く気付いてあげられなかた事が悔やまれた。これからはもう少し、母と過ごす時間を大切にしていく事にしよう。佐藤

ワーカーズをもっと知りたい、
もっと広めたい！
そんな人たちのための
講座や冊子あります。

連合会まで
お問い合わせください

ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行…埼玉ワーカーズコレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者…後藤成美 編集…広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話 048-844-0221 FAX 048-838-7884

<http://saitama-workers.com/>